

「おへそがえる・ごん」1
ぼんこつやまのぼんたとこんたの巻
他 全3巻
赤羽 末吉/さく・え 福音館書店
(EAア/BEAア)

ごんには特別なおへそがあります。ぽちっとおせばもくもくもく、ふしぎな雲がだせるのです。この必殺技でどんなピンチものりきります。

「おおきな
おおきな
おいも」
赤羽 末吉/さく・え
福音館書店
(EAア/1-ア)



あおぞらようちえんのいもほりえんそくは、雨で中止になってしまいました。「おいも、おおきくなって待っていてくれるって。どのくらいおおきいかな？」みんなで絵をかき始めましたがあんまりおおきくて紙がたりないくらいです！



「へそもち」
渡辺 茂男/さく
赤羽 末吉/え
福音館書店(EAア)

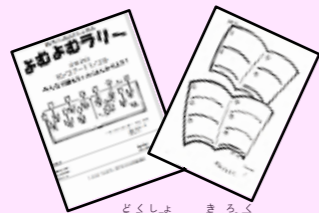
おへそがだいこうぶつのかみなりさま。あちこちとびおりてはおへそをとっていきます。おへそをとられた人は、「うん」とおなかにちからをいれても「すん」とぬけてしまいます。そこでおしょうさんが考え出したのがへそもちでした。

「日本の神話」第1巻
くにははじまり
他 全6巻
赤羽 末吉/絵
舟崎 克彦/文
あかね書房 (EAア)



みんなで読もう！
たくさんかりよう！
よむよむラリー

10月27日(火)～11月29日(日)の期間、スタンプラリーをやっています。(移動図書館は12月25日(金)まで)
スタンプは、読んだ本1冊で1つ、我孫子市内の図書館または小学校の図書室でおしてもらえます。



毎年あつめて読書の記録にしよう！

おはなしのトビゴリラ 7

ひらけ！

10月27日(火)は文字・活字文化の日、またこの日から11月9日(月)までは、秋の読書週間です。

今号の特集はむかしばなしです。文字や活字ができるよりずっと前から語り継がれてきた物語が世界中にあるんだよ。

世界のむかしばなし

イギリス

「三びきのこぶた」

瀬田 貞二／やく
山田 三郎／え
福音館書店
(MEAヤ/EAヤ)



ウクライナ

「てぶくろ」

エウゲーニー・M・ラチョフ／え
うちだ りさこ／やく 福音館書店 (MEAラ/EAラ)

おじいさんがもりでおとしたてぶくろ。さいしょにすみついたのは、くいしんぼねずみです。かえるやうさぎもやってきて「ぼくも入れてよ。」とつぎつぎにくわわって…。



ロシア

「おだんごぼん」

瀬田 貞二／訳 脇田 和／画
福音館書店 (MEAワ/EAワ)



おいしそうなおだんごぼんを、うさぎやおおかみがよびとめます。けれどおだんごぼんは、「おまえなんかにつかまるかい！」と言ってコロコロころがりつづけます。

モンゴル

「スーホの白い馬」

大塚 勇三／再話
赤羽 末吉／画
福音館書店
(MEAア/EAア)



スーホは生まれたばかりの子馬を助け、大切に育てました。立派に育った白馬をとのさまがほしがりましたがスーホはきっぱりと断ります。

中国

「あかりの花」

肖 甘牛／採話 君島 久子／再話
赤羽 末吉／画 福音館書店 (MEAア/EAア)



十五夜の夜、はたらきもののトーリンのもとに美しいむすめがあらわれました。ところが、トーリンがなまけものになると、むすめは月の世界へ帰ってしまい…

ドイツ



「グリムのむかしばなし」1、2
グリム／著 ワンダ・ガアグ／編・絵
松岡 享子／訳
のら書店 (M2-グ/2-グ)

「ヘンゼルとグレーテル」「シンデレラ」「ブレーメンの音楽隊」「ラプンツェル」みんなグリムのむかしばなしなんだよ。



「ねむりひめ」

グリム／[原作]
フェリクス・ホフマン／え
せた ていじ／やく
福音館書店 (MEAホ/EAホ)

フランス

「きこりとおおかみ」 やまぐち ともこ／さいわ
ほりうち せいいち／え
福音館書店 (MEAホ/EAホ)



きこりの家に忍び込んだらはらぺこおおかみ。いちどは追い返されましたが、ふたたびやってきたのです。なかまをぞろぞろしたがついて。

アフリカ



「ダチョウのくびはなぜながい？」

ヴァーナ・アーダマ／文
マーシャ・ブラウン／絵
まつおか きょうこ／訳
富山房 (MEAブ/EAブ)

スリランカ

「ふしぎな銀の木」

シビル・ウェッタシンハ／再話・絵
松岡 享子／訳 市川 雅子／訳
福音館書店 (MEAウ/EAウ)



「夢でみた銀の木をさがしてこい。」王様に言われ、3人の王子は旅に出ました。けれど、たどりつけたのは一番末の王子だけでした。

日本



「うまかたやまんば」

おざわ としお／再話 赤羽 末吉／画
福音館書店 (MEAア/EAア)

馬をひいてとうげみちをこえていたうまかたは、やまんばに追いかけられて、つみにも馬も、ぱりぱりと食われてしまいます。



「ちいさなたいこ」

松岡 享子／さく 秋野 不矩／え
福音館書店 (MEAア/EAア)



「ぶすのつぼ」

日野 十成／再話
本間 利依／絵
福音館書店
(MEAホ/EAホ)

「つぼのなかみは“ぶす”というどくなのだ。」おしょうさんはそういうけれど、こぞうたちは気になって…。ちえくらべのおはなし。



「ふるやのもり」

瀬田 貞二／再話
田島 征三／画
福音館書店
(MEAタ/EAタ)

このよでいちばんこわいのは、どろぼうよりも、おおかみよりも“ふるやのもり”。“ふるやのもり”ってなんなのでしょう？

さあ、むかしばなしでせかいりょうごうだ！
きみの知ってるむかしばなしはあるかな？